

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>ナノデス アクスウイングVIII</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	△RG <b>0.058</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アクスウイングVIII**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 番

PAPからピンとの距離  
**5** インチ

研磨剤

**比較対照ボール：アクスウイングVII**

フレアーの幅  インチ

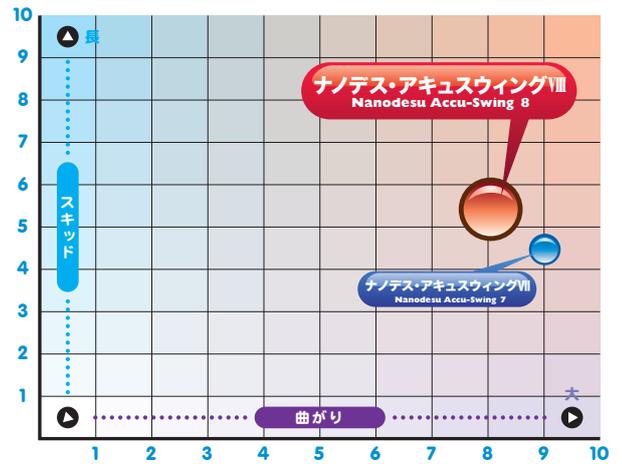
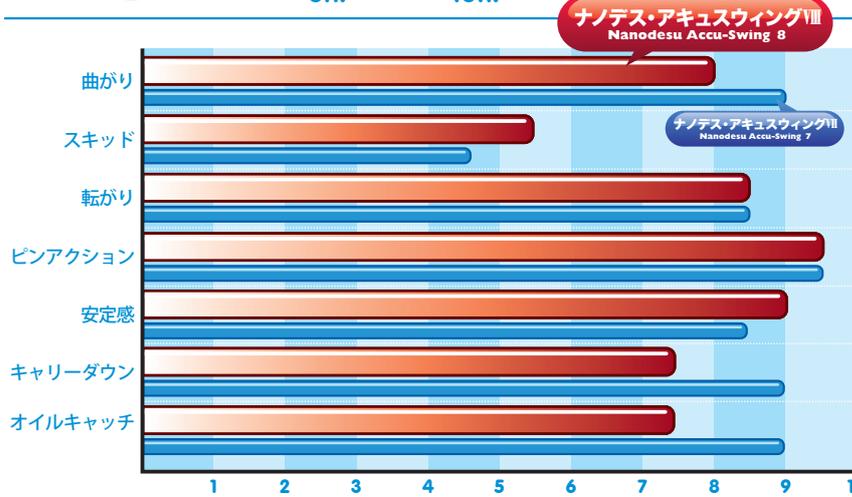
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 番

PAPからピンとの距離  
**5** インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

独自の製法、揺るぎない信念で数多くの名作を生み出してきたナノデス・アクスウイングシリーズ。ABS 50th Anniversaryになる今年、アクスウイングGOLDモデルに引けを取らない性能で開発を進められてきたのがこのアクスウイングVIIIです。基本スペックはアクスウイングVIIで使用したVGI bulb core With Magnetコアにケミカルから見直された新カバーストック、対応コンディションをミディアムヘビー以上に設定する為の#2,000アブラロン仕上げ。開発スタッフ満場一致の一点の曇りもないパーフェクトな仕上がりで自信をもって発売することができます。

このアクスウイングVIIIの開発コンセプトは”Continuous”(コントロールされた持続的な曲がり)です。実際にアクスウイングVIIIと比較を行ない参考にした性能分布は、MOTIV社”COVERT REVOLT”、COLUMBIA社”TAKE DOWN”で、放たれた瞬間から転がり、ミッドエリアでの安定した曲がり始めからさらに転がり感を増しながら、ピンヒットまでそのパワーを持続することができるのがこのアクスウイングVIIIの特筆すべき点です。もう一つ忘れてならないのはピンアクションで、日本独自の衝撃吸収システムにコアとインナーシェルの密着度を上げるMagnet構造を取り入れ、柔らかさ・低さ、タップ率軽減までを視野に入れ、ABS 50th Anniversaryの年に発売されるナノデスシリーズに相応しいボールとなりました。配色もブラックパールに赤のロゴで渋さと重厚さまで感じることができます。REVOLTやTAKEDOWNの曲がり方のイメージが合う方は”鉄板”で必ず気に入ります。また転がりの良いボールを探している方や、曲がり系でコントロールし易いボールを探している方はこのボールをおすすめします。

### 特記事項

**Continuousを前面にだし、曲がり始めやオイルに対しての安定感、終わらない曲がり転がりを求めた性能。このボールはナノデスファンのみならず、多くの方に使用して頂きたい逸品です。**